

特定非営利活動法人COCO湘南・会報



コミュニティ

コーポラティブ

COCO-Community地域社会との関わり、Cooperative共同して生活してゆく、の意味

2014年10月

発行所*COCO湘南

〒252-0804 藤沢市湘南台7-32-2

Tel:0466-46-4976

Fax:0466-42-5767

発行者*西條節子



15周年おめでとうございます。



初めて「COCO湘南台」を訪ねたのは、10年ほど前になります。グループリビングを作りたいとJKAの補助事業に応募し、この事業が「COCO湘南台」をモデルにしていることを知り訪問させていただきました。

西條さんにお目にかかり、「自立と共生の暮らし」に衝撃を受けました。いぶりたすけ愛が目指している“成熟した市民社会”のモデルがそこにあると感ずることが出来ました。「COCO湘南台」の素晴らしさを「いぶりたすけ愛」の仲間たちに、夢中で伝えたことを思い出します。

それ以来、「いぶりたすけ愛」にとって「COCO湘南台」は憧れであり、目標となりました。その後も何回も宿泊させていただきました。そのたびにまるで親戚の家を訪ねているような、安心と落ち着きを感じられる場所となりました。

先日、西條さんは15周年に当たり「次の世代に橋わたしをしていきたい。」との希望を話されました。これからの超少子高齢社会に、20年後の「いぶりたすけ愛」はどうなっているのだろうと嘆くばかりだった私は、西條さんの熱意と元気に驚き、また衝撃を受けました。西條さんは私の20年後のお歳なのですから。

グループリビングの「自立と共生の暮らし」は、少子高齢社会だからこそ必要な、高齢者の住まいの提案です。前向きな西條さんの元気に励まされ、今まで以上に「自立と共生の暮らし」に取り組んで行きたいと思いを新たにしています。



NPO法人いぶりたすけ愛
理事長 星川光子

NPO 法人COCO 湘南とCOCO 湘南台の15年の歩み



1998年
高齢者バリアフリー
研究会



1998年 地鎮祭



COCO湘南台



2002年頃 鏗山親方を囲んで

ワーカーズコープおり〜ぶが
共用部分の掃除始める



高齢者バリアフリー研究会
立ち上げ

居住者決定・懇親会

ワーカーズコープおり〜ぶ
配膳サポートと食器洗い

着工（地鎮祭）



1996

1998

1999

用地決定

公開説明会

竣工

家見会

COCO湘南台開設
入居開始

NPOの法人格を取得
理事長 西條節子

第1回
サロンコンサート開催

ワーカーズコープキュービックに
昼弁当、夕方半調理品の配食を委託

この家に住んで

高橋郁子



15年前COCO湘南台が出来上がったときはほんとに嬉しかった。皆の夢の結晶。それがこの品格ある建物として実現したのです。私は初々しい木の香りのする壁を、ドアを、手すりを、そこいらの中を、何遍も何遍も、時を置いては何遍も何遍も、撫で回したものでした。カナダのジャスパーの湖畔のレストランを模して設計された最上さんの輝身の作品、食堂。私、初めのころは食堂に入るときは、そっとお辞儀をして入ってました。木彫の凝った洗面所、手すりの輪飾り、なんて、優しい心の籠った設計なんでしょう。

そして15年目のある日、ふと気づいたのです。ここ15年の私の凡てをこの部屋は見ている、知っている。この壁は私の寝言を聞いている。夜中にトイレに立ってふらついた時も、この床は黙って支えてくれた。旅に行っていた時も、この入口はじっと帰りを待っていてくれたのだ。

よーし、これからは内緒ごとこの柱と謀って、そして天井の囁きにもよく耳を傾け、窓の忠告もよく聞いて暮らしていきましょう。よろしくね。





2000年 誕生会



紙芝居



2006年 雪の日



2000年 夕食

COCOありま



COCOありま開設
(神奈川県海老名市)



2005年頃 ルルちゃんと
ライフサポーター井野元さん

COCO湘南台10周年
「地域をみんなで作っ



1周年
ティーパーティ開催

が
始める

ベルメイト、
バスメイト開始

ワーカーズコープキュービック配食終了。
ワーカーズコープおり〜ぶが夕食と
土日祭日の昼食作りを開始。
NPO法人暮らし・環境・再生ネットワーク
ディスプレイすひまわりに平日の昼に配食を委託。



「10人10色の虹のマーチ・
高齢者グループリビングCOCO湘南台」発行
(西條節子著、生活思想社)

ターミナルケア

法人内に
ライフサポーターを
置く

日本自転車振興会(現財団法人JKA)が
COCO湘南台をベースに建設補助を開始。
(2011年までに全国に
16件のグループリビングができる)

COCOたかくら開設
(神奈川県藤沢市) JKA補助



COCOたかくら

COCO
(神奈川県)

COCOみちしる



2001年 誕生会



2003年 ウクレレ演奏



2007年 10周年記念 今井通子氏 講演

15年間の暮らしとこれから 宮本多満枝



もう十五年にもなるかと思うと、あっという間の日のようでもあり、思い出せないほどの数の出来事が走馬灯のように、よみがえってくる。複雑な気持ちは隠せない。

庭一面雑草だった当初、人手を借りなければ到底片付かなかった日々。居住者の自由な畑作りの場に見事な野菜が育ち、食卓にのぼる日、微笑は幸せの表現だった。自由な生活は各人の生活の場を拡げ、旅に出るのもよし、働くもよし、読書、又、土に遊ぶ人と、それぞれが何の遠慮もなく明け暮れた。決まりは皆が話し合い、年を経るにつれ、病も突然おとずれてくるけど、1人ではない安心感が不安をとりのぞき、バリアフリーで生活が続けられる。私のCOCOの生活の半分は病気との闘いでもあったが老いと病は必ず忍び寄ってくる。でも恐れることなく迎えられると思う。



青山夏美氏 ピアノ演奏



2011年 登別ワークショップ



2012年
ココちゃんがやってきた

「グループリビング
運営協議会」設立に
関わる

横浜ワークショップ
「地域に開くグループリビング」
共催

シンポジウム
「男と女」主催

「在宅ターミナルケアのある暮らし」発行
(西條節子著、生活思想社)

2009

2011

2012

2013

2014

ターミナルケア

西條節子
理事長再任

財団法人JK A
高齢者生き生き
グループリビング支援事業を開始
(2011年度までの約4年間)

登別ワークショップ
「『自立と共生』
理念と実現のための支援」
主催

COCO湘南台
15周年シンポジウム
「これからのグループリビング
よりよい明日へ」開催

まちしるべ開設
藤沢市



2011年度総会
理事長最上眞理子
(2010年4月1日～
2012年3月31日)



2013年 横浜ワークショップ「地域に開くグループリビング」
1日目 COCO湘南台座談会



2008年 正月獅子舞



2012年 シンポジウム「男と女」上野千鶴子氏講演



横浜ワークショップ
2日目 神奈川県民ホール 大会議室

節子の部屋

NPO法人COCO湘南
理事長

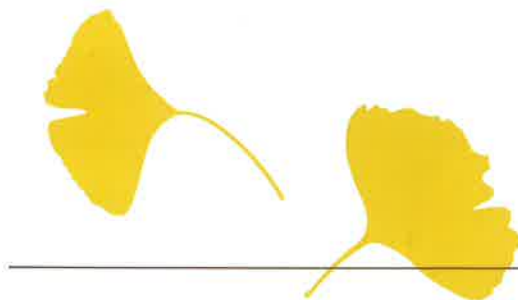
西條 節子



15才の春と15年の秋

あの悲しみが心から消えない。15才の東京渋谷の学生時代、焼夷弾をあびた高級住宅が一瞬にして消えた。「助けて…」泣きわめく子供と大人が倒れていた。学生は担架をかついで、次々と学校の講堂へ運んだ。髪の毛と衣服も焼けただけ、破傷風で息をひきとられてしまった。焼夷弾で全滅したまちの夜はメラメラと燃えている火の煙だけであった。このような記憶は、一生涯私につきまとうでしょう。殺されるために生きているのではない。

そして2014年。私は今NPO法人COCO湘南設立15周年の秋を迎えようとしている。子供たちよ。あなたたちは、人を殺すためにいるのではない。殺されるためにいるのではない。私は今86歳を迎えた。この心をしっかり伝え、行動を続けていこう。世界に誇る憲法を守りぬくことも誓いあいたい。



NPO法人COCO湘南の概要

- 活動の目的** ▶ COCO湘南は、高齢者のためのバリアフリー・グループリビングや高齢者地域活動センターの運営とその関連事業を通じて、高齢者の健康的で文化的な生活を支援し、明るい地域社会づくりに貢献することを目的とします。
- 活動の種類** ▶ COCO湘南は、目的を達成するために、①福祉の増進を図る活動 ②社会教育の推進を図る活動 ③まちづくりの推進を図る活動等を行います。
- 事業の種類** ▶ COCO湘南は、①高齢者バリアフリー・グループリビングを開設し、運営する事業 ②高齢者への家事援助、介助並びに介護サービスの事業 ③高齢者のための生涯学習、レクリエーションの事業 ④高齢者の地域連帯を促進し、自立と共生を支援する事業を行います。
- 事務局** ▶ 住所：藤沢市湘南台7-32-2 中野 満 電話：0466-46-4976 Fax：0466-42-5767
メール：coco-shonan@jcom.home.ne.jp HP アドレス：<http://www.coco-shonan.jp/>
* 定例見学会は第一日曜日から第一土曜日に変更になりました。

福島・米沢ワークショップ11月15日、16日開催

自由なくらし。自分らしく、ともに住もう。 —東北に高齢者グループリビングの暮らしを—

高齢者グループリビングは、パッケージ化された暮らしのシステムを購入する仕組みではなく、みずから暮らしをつくる楽しみと自由が（時には苦労も）含まれる居住スタイルです。

独居高齢者の孤立を防ぎ、生活の質を上げ、地域との繋がりを促進するためには高齢者グループリビングという住まい方が有効と考え、私たちがこれまでグループリビングの運営を通して蓄積してきた経験や知見を、復興住宅や新しくできるサービス付き高齢者向け住宅に提案するとともに、地域住民、行政にこのような住まいの選択肢があることを知っていただくために、ワークショップを開催します。

- ワークショップ見学会 グループリビングモーニング（福島県福島市）・COCO結いのき（山形県米沢市）
- テーマ 「東北とグループリビング」・「生協活動とグループリビング」
- お問合せ先 グループリビング運営協議会 事務局 土井原奈津江
FAX 0466-42-5767（COCO湘南台内）／ E-mail natsue@sfc.keio.ac.jp

～NPO会員の募集～きっと人それぞれに出来る大切な一歩があるはず！

COCO湘南の活動にいろいろなかたちでのご参加とご支援をお待ちしています。

●会員になってくださる方

正会員：個人入会金 ¥5,000（年会費1口¥5,000）
団体入会金 ¥10,000（年会費1口¥10,000）

賛助会員：個人年会費 ¥2,000（入会金不用）
団体年会費 ¥5,000（入会金不用）

●ご寄付くださる方

COCO湘南の活動の費用など、資金面等で応援してくださる方

- ★特典 ①会報の送付
②サロンコンサートなど行事の案内
③ゲストルームの利用

高齢者グループリビング普及活動

..... 2014年7月～9月

9月6日 COCO湘南台で定例見学会を開催しました。中野事務局長、亀井里江子、井野元美奈子が対応しました。11名が参加し

ました。

9月6日 大阪大学工学部建築学科の学生が見学に来ました。

9月6日「脇れい子と語る会」（脇れい子後援会主催）で土井原奈津江がグループリビングについて、講演しました。

編集後記

15周年を迎えたこと、法人にかかわる一人として大変嬉しく思います。開設時に生まれた赤ん坊が中学3年の少女少女になっているのだと考えると、15年という歳月は様々なシーンに彩られた長い時間であることが実感されます。65歳から80歳になる15年間もきっと坦々としたものではないのでしょう。グループリビングに暮らすことで、一人ひとりの人生に一層豊かな色彩や陰影が生じているのだらうと想像します。（も）

編集者*西條節子
大江守之
熊澤淑子
竹内碩子
青木静恵
土井原奈津江